

# お母さんが先生です

## 新入学(園)児の交通安全

遊びに夢中になつている子供が、ボールを追いかけて、いきなり道路に飛び出して来る。「キキキッ」と、車の急ブレーキの音——子供はときどき大人が想像もつかないような衝動的な行動をとります。その結果、思いがけない交通事故の犠牲者となつてしまうことが少なくありません。

シーズン控え、子供に対する交通安全教育が必要な時期でもあります。

子供の交通事故の特徴や行動の特性を理解して、具体的に指導し、子供を交通事故から守ってください。

### 具体的な教え方を

●実際の体験を通して教えることが大切です。

●通学、通園時間に合わせて、お子さんといっしょに通学(園)路を何回か歩いて、信号機の見方、横断歩道の正しい渡り方を指導するようにしましょう。

また、同じ道でも、時間や曜日によって交通事情が変わるこ

とが多くなり、交通事故に遭う危険性もそれだけ高くなります。また、この時期は、新入学(園)



とも併せて教えておきましょう。

●子供には「ああしてはいけない」「こうしてはいけない」といつても、あまり効きめはありません。安全な行動を具体的に教えて実行させ、ほめながら教えると効果があります。

●道路を横断する前に、必ずいったん停止する習慣をつけさせましょう。それには日ごろから、曲り角では必ず止まるなどの習慣をつけて注意深い子供に育てましょう。

●道路で遊ばないように、ふだんから徹底して注意しましょう。最近では、裏通りを通る車が多くなっています。いっそうの注意が必要です。

### 生活にゆとりを

また、子供が毎日の生活で時間のゆとりを持つことも、交通事故に遭わないための大切なポイントです。

●寝る前に翌日の準備をすませるように習慣づけ、登校時間に余裕をもたせるようにしましょう。

あわてて登校し、忘れ物に気づいて家に引き返す途中で、事故に遭うケースが多いのです。

## ドライバーの皆さんへ

子供を交通事故から守るためには、ドライバーの皆さんの安全運転と、子供たちへの思いやりが必要です。

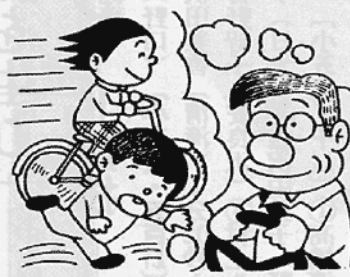
ぜひ、次の点を厳守してください。

●子供の「飛び出し」は突発的です。子供の姿を見たらスピードを控え目にし、徐行運転を。

●子供が道路を横断しようとしているときは、後続車に合図を。

●発進、後退のときは、周囲に子供がいなかを確認。

●左折するときは、左側に自転車に乗った子供や歩行者がいなことを十分確かめて徐行を。



### 帰宅後の遊びにも注意を

●帰宅後、遊びに行つてよい範囲や帰宅時間などを決めて、子供にしっかりと守らせるようにしましょう。

●子供に自転車を利用させる場合には、子供の年齢や体力に適したものを選び、ときどきお子さんといっしょに点検や整備をしましょう。

